



進学先

北海道大学

総合入試 理系

矢出 翔太郎さん

桐蔭高校
ボート部

インタビュー

岡 哲司
(AC ターミナル校カウンセリングスタッフ)

志望校を北海道大学と決めたのはいつ頃？

矢 出： 高1の9月頃に考えていました。高校に入ったときは、どこに行きたいとかはなくて文系理系も決まっていなかったので、高1のときのオープンキャンパスでは文学部とかもいろいろ行ったりしたんですけど、ピンとこなくて。理系かなと。理系では理学部、工学部みたいに研究室で、というよりは、農学部みたいに外で実習がしたいなと思ったので、農学部に決めました。そしたら北海道大学が一番いいかなって考えて。最終、高2の夏のオープンキャンパスで、決めました。農場がとにかく広がった。綺麗でしたし。他の大学も行ってみたんですけど、農学部だったらやっぱり北海道大学かなって。

何を学びたいと思っていますか。

矢 出： 農学部でも農業というよりは、環境の生態系の研究に進みたいなと思っています。一番いいなと思ったのが、オープンキャンパスで知った農学部の生物資源科学科で。魚とかも研究していたので。でも北大の総合入試※だと農学部以外にも進めるので、理学部系でやりたいことがあるならそっちでもいいかなって。

※総合入試理系:入学時に学部を決定せず、1年目修了時に学部を決定する理系の入試形態。

合格への手応えを感じたのはいつ頃ですか。

矢 出： 記述模試ではずっとC判定だったので、がん

ばったら行けるかもとは思っていたんですけど。高3に入って本当に手応えを感じたのは大学別模試の化学重点選抜群でA判定だったときです。どちらかというと共テでどうなるかっていう状態でした。共テで8割とれたら、二次はいけるだろうと思っていました。12月に学校でやった共テの演習でとれたので、このままいけば、とは思いましたが、やっぱり共テは怖かったです。

二次試験当日、開始が遅れるトラブルが。どんな感じでしたか？

矢 出： 人身事故の影響で開始が2時間遅れて。会場で待っている時間は、札幌の人で友だちがいるっていう人たちは外を見に行ったりしていたんですけど、自分はそんなことをやっている場合ではないと思って。数学の前だったので、赤本で計算とかやっていました。

高1・高2の部活と勉強はどんな風に両立していましたか？

矢 出： 高1のときはそんなに勉強をやっていなかったです。定期テストだけはちゃんとやろうとは思ってたんですけど。普段は学校の宿題をやっていたくらい。テスト期間は、ほぼ毎日アカデミーに自習に来てました。あと、テスト発表までに「4STEP(数研出版)」を最低1周終わらせたならテストでいい点をとれるっていうのが自分の中であつたので、それはやっていました。

受験勉強を意識し始めたのはいつ頃？

矢 出： 高2の夏休みから。ちょっとやろうかなみたいな。アカデミーの数学ですすめられた「大学への数学(東京出版)」をやり始めたんですけど、めちゃくちゃ難しくて(笑)。やってはやめ、やってはやめみたいな感じでした。あとは、英語の「POWER STAGE(桐原書店)」で文法を1周したくらいで。でも高2は、夏休みがおわったら、ほとんどやってなかったです。気が向いたら数学をさわるくらいで。理科は定期テストでがんばるくらい。

高3になってからの受験勉強の進め方は？

矢 出： 化学の「重要問題集(数研出版)」はめちゃくちゃ良かったです。何周もしました。出るわけがないよねみたいな問題も、過去問を見たら出ていたりして。そういったところも網羅されていたので。物理は、学校の授業をちゃんと聞いて、定期テストの勉強をして、「リードα(数研出版)」をしっかりとやっていたので、ある程度基礎ができている状態で、あとは埋めるだけだった。だから、高3の夏前から「良問の風(河合出版)」、9月頃から「名門の森(河合出版)」をやりました。で、北大の赤本15力年の数学は9月頃からです。物理・化学は10月入る頃までには始めたっていう流れです。

AcademyCampusに来てくれたきっかけは？

矢 出： もともとGES(中学生部)に来ていたので。GESの数学の授業も、このアカデミーの教室を使っていたので、毎週来ていたし。なので、高1になってもそのままの流れで入りました。

AcademyCampusの授業や特別講座について教えてください。

矢 出： 代ゼミサテライン講座の亀田先生の化学は高2の10月くらいから始めました。無機化学や有機化学の最後の高分子って、学校ではやらなかったり最後の方だったりするのに、暗記内容が多くて。そこを分かりやすくまとめてくれていて、早めにしたので良かったです。覚えやすかったですし。あと、高3になってから荻野先生の数学。最初の数ⅠⅡは、教科書には載っていない一個上の段階の"受験の基礎"みたいなのが分かって良かったです。数Ⅲは受けなくてもいけるかなって思って途中から受けなくなったんですけど、共テ終わってからちゃんと見たらめちゃくちゃ重要なことを言ってて(笑)。早くやっておけばよかったと思いました。



クラスライブ授業はどうだった？英語を受けてくれたね。

矢 出： ACクラスライブ授業は、高1・2の間はハイレベル英語を受けていました。自分は明らかに他の子よりもできていなくて、がんばらないとなと思っていました。英語は、難しいっていうか、なんでできるのか・なんでできていないのかが分からないっていうか。数学だったら、こう来てこうっていうのがあるけど、英語は違って。英語の文章読解は得意ではなかったかな。単語の知識不足っていうのもあったと思うんですけど。あ、そういえば、高3でクラスライブの授業を受けていた吉田先生にすすめてもらった「大学入試 英作文ハイパートレーニング 自由英作文編 Plus(桐原書店)」でやった問題に、似た題材が二次試験で出たので、当日書きやすかったです。

高3の夏に受けた、難関大予想問題演習はどうだった？

矢 出： あのタイミング(7月中旬)で受けた北大の予想問題演習で、今、数学はどれくらいいいけるのかっていうのがみえて良かったです。過去問演習に入る前に、自分の実力が分かって、今後の課題がある程度みえたので。



高3時、毎日自習に来ていたモチベーションは？

矢 出： 高3になったらやらないと、と思っていたので、来るのが当たり前だと思っていました。みんなもそうだろうな、と。僕は、家だとできないタイプだったので。塾で21時半までやって、家帰ってからはダラダラして寝ていました。塾こないとできないから、毎日来るって決めて。塾に来たほうが集中して勉強できました。

模試の結果は絶対に報告してくれたし、講座申込もはやかったよね。

矢 出： 模試の結果は、先生に見せたかったので(笑)。講座の選択も、これを受ける・これを受けたら次はこれっていうストーリーみたいなのがあったので、特に迷うことはなかったです。

大学でやりたいことや将来やりたいことは？

矢 出： 今は研究者になりたいと思っています。大学院には進むつもりですが、北海道じゃなくてもいいかなって。やりたいことがあれば九州でも京都でも。大学でのボート部は、ちょっと迷っています。サッカーも興味があるし。新歓とか行って決めようかなって思っています。

日本で最も美しいと言われる北海道大学のキャンパス。楽しみだね。

矢 出： イチョウ並木が綺麗って聞きますね。受験の前日に下見に行ったときに、雪の上に銀杏が落ちているのを見つけました。キャンパスが広いので、だいたいの人が大学の中を自転車で移動するらしくて。高2の夏にオープンキャンパスに行った時もたくさん自転車がとまっていました。



編集後記 ～インタビューを終えて～



矢出君は桐蔭高校の中でも忙しいと有名なボート部に所属し、文武両道を見事に成し遂げました。高1・高2生の時には、どれだけ部活が忙しく体力的にしんどい時でも、数学の勉強を欠かさず、そして毎回の定期テストには全力で挑んでいました。また、受験学年に進級してからは、部活の練習がある日でも毎日ターミナル校の3階個別ブースで黙々と勉強を継続していました。そうした3年間のコツコツとした努力と、部活を言い訳にしないという強い意志の結晶が、第一志望合格につながったと思います。そして、高1から北海道大学という明確な目標を設定していたことも大きな成功要因だったと思います。最後までブレずに北海道大学を志し、合格通知を勝ち取ったことは、本当に素晴らしいと思います。矢出君の意志の強さと、ひたむきに努力できる継続力は、大学生になっても、社会に出て、必ず彼の強みとなるはずで。今後の活躍に期待しています。3年間お疲れさまでした。大学でも頑張ってください！